

みやけい交通安全ニュース

発行：宮崎県警察本部交通企画課 R8-No.4 (2026.2.26)



寒冷期の運転に注意!



寒冷地や雪道での運転は、路面やフロントガラスが凍結することで、滑りやすくなったり、視界が悪くなるなど、冬特有の危険が伴います。

高速道路や山間部の運転は、積雪や路面凍結を想定した準備が必要です。スタッドレスタイヤやタイヤチェーン、除雪スコップ等の準備をしましょう。



積雪

道路に雪が積もった場合、大変滑りやすくなります。

ノーマルタイヤでは、ブレーキをかけても止まれなかったり、雪にタイヤがはまり、自力で抜け出すことができなくなります。

また、車体の屋根に積もった雪がブレーキ等の際にフロントガラスにずれ落ちてきて視界をさえぎる、排気口が雪で塞がれ、一酸化炭素中毒を起こすなどの危険性があります。

雪にタイヤがはまり込んだ状態



路面凍結 (アイスバーン)

雪が踏み固められたり、雪や雨が凍って路面が滑りやすくなります。

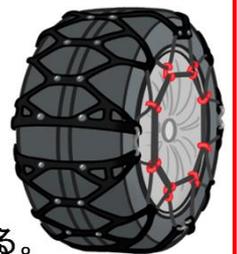
中でも、路面が薄い氷の膜で覆われ、濡れているだけに見えるブラックアイスバーンと呼ばれる状態は、一見すると路面が湿っている状態と見分けがつかないので、大変危険です。

日の当たらない場所や風通しのよい橋の上、トンネル出入口付近に発生しやすいので注意しましょう。



寒冷期の交通事故防止のポイント

- スタッドレスタイヤやタイヤチェーンを装着する。
- 速度を抑えて、急ブレーキ・急ハンドル等「急」のつく行動を避ける。
- 前車との車間距離を空ける。
- 道路情報や天気予報で、情報収集する。
- 運転前に、車体の屋根等に積もった雪を取り除く。
- 積雪やエンジンのトラブルに備えて、除雪スコップやブースターケーブルを携行する。



※ 凍り付いたフロントガラスの氷を溶かすために熱湯をかける行為は、フロントガラスを破損させるおそれがあります。

フロントガラス凍結の対処法は、右の二次元コードから JAF のホームページに掲載されている記事を参考にしてください。

JAF (日本自動車連盟)
ホームページ
二次元コード



毎月10日は「県民交通安全の日」

地域の交通事故情勢に応じた活動を行う日です。地域や職場、学校、家庭等で交通安全活動に取り組みましょう。